

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	総合福祉センター維持管理事業					②事業番号	4504
③事業類型	4. 施設等維持管理事業			④開始年度	平成 26 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	○ 条例	○ 規則	○ 要綱	計画等	その他	法令等の名称 泉南市総合福祉センター条例 他
⑦実施手法	直営	全部委託	○ 一部委託	○ 補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	3	項	1	目	6	細目 4・5
⑨担当部名	健康福祉部			⑩担当課名	長寿社会推進課		会計 一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 泉南市総合福祉センター	① 施設数	施設
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
総合福祉センターの維持管理を行うため修繕の必要な個所の修繕を図り、利用者の安全及びサービスの向上を図る。	① 総合福祉センター修繕箇所	ヶ所
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
総合福祉センターの維持管理を適切に行い、利用者の安全の確保及びサービスの向上を図る。	① 総合福祉センター修繕料	円
	計算式	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
利用人数の増加により、より魅力ある施設運営につながる。	政策(章)	2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち
	施策大(節)	3 みんなで支えあう福祉のまちをめざします
	施策中	1 地域福祉の推進
	施策小	1 地域福祉活動の推進

【2】各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	
対象指標①	施設数	施設	1	1	1	1	1	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	総合福祉センター修繕箇所	ヶ所	3	1	1	1	—	—
活動指標②								
活動指標③								
成果指標①	総合福祉センター修繕料	円	2,894	2,107	1,327	1,341	—	
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明 R1 冷温水機修繕(3,607千円)発生のため
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.17	0.18	0.18	0.18		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	1,365	1,459	1,388	1,388		
	直接事業費	千円	2,894	2,107	4,974	1,428		
	総事業費	千円	4,259	3,566	6,362	2,816		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	9	126		
	一般財源	千円	4,259	3,566	6,353	2,690		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	総合福祉センター設置に伴う事業。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	総合福祉センター設置したことにより、耐用年数の経過とともに修繕箇所が増加しており、今後、老朽化に伴い増々修繕箇所が急増すると考えられる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	公共施設等の最適化に向けて検討。

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	地域福祉の拠点である総合福祉センターを維持管理を行う。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	総合福祉センターは公共施設であるため、利用者の安全確保と快適な利用を提供する必要がある。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	修繕箇所は年々増加しており、適切に修繕を行っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	利用者の安全確保と快適なサービスの提供ができなくなる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	サービスの向上をより図る必要がある
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	修繕が必要な箇所を調査し、緊急性を伴うものを随時修繕できる体制の整備が必要であり、それらに対応することが緊急時の一大拠点となりうることもできる
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	老朽化に伴い、今後も修繕費用は増加することが見込まれる。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)
	<今後の展開方針> - 重点化する(集中的なコスト投入) - 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) - 効率化する(コストを下げる) - 簡素化する(規模を縮小する) - 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	地区20年を経過し、施設の老朽化が顕著なため、在り方を今後検討していく。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	公共施設等の最適化に向けた検討を行う。